

議会だより

一般質問

9月12日に開会された第3回定例会では、5名の議員から6件の一般質問がありました。



松永議員

商業活性化施設整備について

松永議員
商業施設に関する住民説明会を3か所で行った際、町民からの質問に即答出来なかった事項について変化はないのか。

佐野町長
営業時間や従業員数・勤務体系・商品納入の時間など、現時点でも不明な部分がある。また施設運営に関しても、振興公社と商工会とで協議中であり、今後詳細が決まり次第、町民に公表していきたい。

松永議員
高齢化が進む中、施設へ向かう乗合タクシーやスクールバスの運行はどうなるのか。

佐野町長
スクールバス3路線は変更

これは出来ないかと即答された。住民の足として大変重要な問題なので、前向きに十分検討願いたい。また、スーパーの運営内容が不透明な中、配達業務を現行通り行うと返答があったが大丈夫なのか。採算はとれるのか。

南波企画振興課長

スクールバスは児童・生徒の為のもので、改めて路線の変更は行わない方針である。また、配達業務については、顧客サービスの一環であり、継続できるよう今後人員配置をしていく予定である。

佐野町長
現在、スーパーの運営に関して北竜振興公社が行い、コープさつぽろから商品を仕入

松永議員
多目的スペースの最大利用者数はどれ位になるのか。

佐野町長
椅子のみを配置した場合は最大110席、机・椅子の場

松永議員
スクールバスの路線変更の要望があったかと思うが、そ

小松議員
85歳を超える老夫婦の夫が人工透析治療のため週3回通

松永議員

今後、説明会等で出た意見は町民目線で十分検討し、その結果を十分に周知して頂きたい。



小松議員 老人世帯の通院費の現状について

院し、その通院費負担が非常に大きくなって大変である。住民課で支援の確認をすると、北

竜町にも福祉バスはあるが、週3回ともなると対応にも限界があるとのこと。さらに町から交通費助成として年1万8千円支援している。今の北竜町の条例、要綱ではこれが精一杯の対応だという事である。町長はこの現状をどう考えるか伺う。

佐野町長

本町では日常生活において人工透析が必要な町民のために「北竜町人工透析者交通費

助成要綱」を制定し、平成15

年より交通費の助成をしている。要綱制定時は、対象となる方が比較的年齢も若く、ご自身で運転をして病院に通院する方でしたので、交通費の一部として年額1万8千円の助成を今日まで実施してきた。今回のような高齢者の人工透析は北竜町では初めてのケースであるので、今後要綱の見直しも含めて検討したい。



小松議員

町内で発生する 車上ねらいについて

小松議員

つい先日公民館でのお通夜の最中に車上ねらいが発生した。度々このような被害が発生しているにも拘わらず、町としての防犯対策が追い付いていないように思う。今後どのような防犯対策を考えるか伺う。

佐野町長

今後、公民館、改善センター及び生きがいセンターの駐車場の投光器を増設し、注意喚起の看板を設置し、犯罪の抑止につなげたい。また、和碧水の市街地区、さらに町の主要施設の出入り口に防犯カメラの設置に向けた協議を進める。



山本議員

保育所建設について

山本議員

平成31年度に建設予定の保育所の建設用地盛土工事の規模と費用の説明を求める。

佐野町長

当初予算における盛土工事は、購入土5,400㎡、30,240千円と試算したが、基本設計委託業務等が完了後、改めて明確な盛土数量の積算を行い来年度予算に計上したいと考えている。尚、商業活性化施設及び駐車場工事において1,600㎡の残土が見込まれ、約9,000千円の費用軽減が図れる。今後も良質な工事残土の発生把握に努め、経費削減を図りたい。

山本議員

設計を、著名な建築家隈研吾氏に依頼するとの事だが、どのような事情で願うのか。

佐野町長

新しい保育所は、園児が快適に過ごせ、郷土愛に満ち、誇りに思える保育所をコンセプトに、世界的建築家隈研吾氏に設計を依頼することになった。隈氏は、平成9年に来町以来、来る度事に「北竜町で出来る事があればお手伝いさせてほしい」とお声がけ頂いており、快く引き受けて頂いた。

山本議員

保育所建設に町有林の活用を計画しているが、伐採計画はどのようになっているのか。

佐野町長

隈氏の設計完了後に具体的な検討に入ると思うが、町有林のみならず、国有林や民有林などの郷土の木材を念頭に、北空知森林組合の協力のもと建設して参りたい。伐採計画については針葉樹の製材に4

か月、天然林は1年程度と聞いているのでそれに合わせて計画していきたい。

山本議員

土盛については、3月の予算委員会の中で10a当たり30万円の土地に300万円の土盛費用は余りにも高額であるとして承認されなかった経過がある。雪解け後、議会の町内視察の際、現地を確認し再度協議・検討するはずだったがその事には一切返答がなされていないまま進んでいるのにならぬのか。

佐野町長

6月の町内視察の際に空いている町有地も見て回ったが安全性などの面から予定地以外適した場所はなかったと思う。また、そこには保育所だけでなく町民がくつろげる公園なども計画しているが、議会には説明し理解されていると思っている。

山本議員

設計者に対し、残土1,600㎡だけを使用しての盛土での設計依頼も可能かと思うが、町長はあくまでも5,400㎡の盛土をするのか。

佐野町長

その通りだが、またどこかで良質な残土が出たら逐次投入し経費削減を行おうと思っている。

山本議員

経費については来年度予算で計上されてくると思うが厳しいと思う。次に、地場産の木材を使用したいとの事だが、製材までの期間を考慮すると、この冬から作業にはいられない。31年の着工に間に合わないのでは。

有馬産業課長

31年の6月頃必要となってくるので、来年の実施設計終了後、選定作業に取り掛かりたい。

山本議員

町有林だけでなく、国有林や民有林も使用しての伐採・製材には多額の費用を要すると思うがどのように試算しているのか。

有馬産業課長

隈氏はカラマツを使用しているが、建築が多いが町有林には伐期を迎えたカラマツはほとんどない。国有林には今年から

31年にかけて伐採計画のある林があり利用したいと考えている。トド松については伐期を迎えた町有林があり対応できると思うが、最終的に不足の場合は民有林も検討したい。



藤井議員

ひまわりの里の施設について

藤井議員

昨年度、新規にパークゴルフ場側に建設された浄化槽トイレの効果または規模は今年度入込客数が増加したが、どうだったのかお聞かせ願いたい。

また、ひまわり観光センターについても多くの利用があったわけだが、排水処理がまだ不完全なところがあると思うが、考えをお聞かせ願いたい。

佐野町長

昨年、建設したトイレの使用水量は30m³で、約3千人以

山本議員

保育所とともに公園も整備すると言う事なので、意を叶える設計となることを希望する。

上の方が利用したものと推計している。

例年、ひまわりの里の女性トイレには、長蛇の列が見受けられたが、昨年の観光センター内のトイレの増設と新設のトイレにより、今年は、観光客が増加したにもかかわらず、ほとんど長蛇の列は見られなかった。このことは、新設トイレの効果だと思われ、規模も適正であったと思う。次に、観光センターの排水処理については、開設時から飲食店を営業されているブースについては、当初から、合

併浄化槽への配管を行っており、問題はなかったが、その後、出店した飲食店の排水については合併浄化槽を通さず、直接排水をしている状況であり、不完全な状態にあることは十分理解している。今後はブース出店者とも協議しながら適切に対応して参りたいと考えている。また、観光センター自体の老朽化についても、総体的な中で検討して参りたい。

藤井議員

ひまわりの里の他の施設という事で、要望になるが、観光客の増加に伴い、出入口・観光センターに歓迎などの看板・垂れ幕等の設置が必要と考えるが、考えをお聞かせ願いたい。

また、遊覧車「ひまわり号」の専用道路を新設して、歩行者や自転車との安全の確保が行われたが、舗装道路においても自転車と歩行者の分離が必要と考えるが、考えをお聞かせ願いたい。

佐野町長

観光センターの看板につい

ては、観光センター東側駐車場に駐車した観光客が、観光センターに気付かず直接ひまわり畑を往来する様子が多数見受けられた。したがって、観光センター東側の壁に「歓迎 おみやげ・お食事」の看板等の設置を検討したい。また、舗装道路における歩行者と自転車の分離については、観光客の安全対策として、必要と認識している。貸自転車受付のシルバー人材センターにも実情を聞いたうえで、判断したい。

藤井議員

最後に、今年は多くの良いひまわりを咲かせる募金が集まったわけだが、継続して観光客が満足できるようにひまわりの花、関連施設の管理に尽力されたい。





佐光議員

今後の町づくりについて 町長の思いを伺いたい

佐光議員

少子化時代を迎え人口減少により、小さな市や町は半減すると言われており、子や孫の時代はもちろん永久に存続出来る町を目指し、今何をやるかが、私達の最大の課題である。幸いに本町は、今まさに農業も、観光もかつてなく輝いている。

この追い風につれて、夢のある町づくりに向けて今後の町長の思いを伺いたい。

佐野町長

今年3月には日本農業集団組織の部で、ひまわりライス生産組合が大賞を受賞し、今年水稲の生育も順調に経過しており、7年連続の豊作が期待されている。また、ひまわりの里への来場者数が開設以来最高の35万6千人を記録し、国内外より大勢の観光客が来

場された。

また、本町に対する「ふるさと納税」の寄付金額も2年連続で3億円を超え、今年も順調に推移している。

今まさに北竜町は国内外から高い評価をいただき注目をされている町である。

その一方で、人口減少、少子高齢化、農業者人口減少、空き家対策、福祉対策等多くの課題を抱えているのが現状である。

このような中で、農業振興推進、ひまわり油再生プロジェクトやひまわりの里整備などの「ひまわり」を活用した町づくり、「認知症のケアを中心とした福祉の町づくり」などの公約実現のため、日々努めてきた。農業・商工・観光・福祉・教育などの様々な分野を通じて、町民が安心し

て暮らせること、町民の幸せのために働くことが私の仕事だと思っている。

「町民が主役の町づくり」のため、今後とも一生懸命頑張る。そして、いつまでも町民一人一人が誇ることの出来るふるさと北竜をつくって参りたいと考えている。



議員コラム

米価を維持するために国が主導して米の生産量を抑える政策、生産調整「減反」が昭和46年から始まり、当初は面積配分であったが、平成16年から数量配分となり、今年度まで46年間続いた生産調整も終わりをむかえた。

政府は例年11月に、翌年の生産量を配分してきたが、今年からは無くなり米の需給調整は、政府主導から産地主導へと大きく転換することとなった。

転作作物への助成措置の充実で飼料用作物等への移行が進み、米の生産調整は平成27年から3年連続で達成される見込みであり、こうした状況を受け30年度以降もこれまでの取組みを続けよとの事だが、生産調整達成者を対

象に交付していた米の直接支払交付金、反当り7,500円が無くなる。農業者にとって同交付金は収入を確保する事ができる貴重な財源であった。

生産調整が来年廃止されるにもかかわらず道産米の供給不足が懸念されている。減反を支えてきた手厚い交付金を目当てに主食米から飼料用米や麦、大豆へと切り替えている。こうした現実を踏まえ、今年度で廃止される米の直接

支払い交付金700億円については、収入保険や水田フル活用の予算、基盤整備事業などに充てるとのことだが、交付金の廃止で米農家の経営は大打撃を受けるわけで、農家の所得確保につながる新たな政策が求められる。

(山本剛嗣)



議員の賛否の公表（北竜町議会では予算議会における議員の賛否を公表することとしています。）

平成29年第3回定例会（会期：9月12日～15日）

○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 -：議長の為賛否無し

▽議 案 件 名	北島	藤井	小松	佐光	小坂	松永	山本	佐々木
教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	-
教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	-
公平委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	-
固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	-
北海道市町村総合事務組合理約の変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	-
北海道市町村職員退職手当組合理約の変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	-
北海道町村議会議員公務災害補償等組合理約の変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町学校林設置条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町小規模企業振興基本条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	-
平成29年度北竜町一般会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	-
平成29年度北竜町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	-
平成29年度北竜町介護保険特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	-
平成29年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	-
平成29年度北竜町簡易水道事業会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	-
本会議における質疑の件数	質疑 0件	-						

決算審査特別委員会（9月13日～14日）

○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 -：委員長・監査委員の為賛否無し

▽委 員 会 付 託 案 件	北島	藤井	小松	佐光	小坂	松永	山本	佐々木
平成28年度北竜町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
平成28年度北竜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
平成28年度北竜町立診療所事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
平成28年度北竜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
平成28年度北竜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
平成28年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
平成28年度北竜町農業集落排水事業 及び個別排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
平成28年度北竜町簡易水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	-	○	-	○
決算委員会における質疑の件数	質疑 2件	質疑 2件	質疑 7件	質疑 1件	-	質疑 8件	-	質疑 2件

町内会長との意見交換会（6月23日）で出された意見を質疑いたしました。

質 疑 内 容	答 弁 内 容
少子高齢化の影響による町の対応について	少子高齢化に対する諸問題は認識している。将来を見ずして町内会からの要望も含めて対応していきたい。
町内会の合併について	
全町民対象の負担金（交通安全協会費、共同募金等各種）の検討について	
葬儀等に対する役場職員の補助について	
コミセンの維持について	

※その他のご意見については、常任委員会・まちづくり特別委員会・災害対策特別委員会において協議しています。

又、8月29日・30日の道内政務調査（下川町・東川町）に基づく質疑も行っています。

下川町：町内における効率ある集落形成について

東川町：町独自のまちづくりについて